



6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 里親登録者が増加する。児童養護施設での児童の深刻な暴力問題が減少する。

指標	指標名	里親委託率							指標の種類
	指標式	里親への委託児童数 / 社会的養護を必要とする児童の数							成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	最終年度
	目標a			7	8	10	11	12	
	実績b	データ等の出典							
	東北 全国	厚生労働省の集計による。							

把握する時期 当該年度中 月 翌年度 04月 翌々年度 月

指標	指標名								指標の種類
	指標式								成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	最終年度
	目標a								
	実績b	データ等の出典							
	東北 全国								

把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月

指標を設定することができない場合の効果の把握方法  
 指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性	
現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性	家庭的養護の推進には里親制度の啓発と専門里親に育成が不可欠である。また、社会的養護の児童の安全・安心の確保は施設が達成しなければならない最低条件である。
住民ニーズに照らした事業の必要性	社会的養護の児童にとって、家庭的養護の推進は、養育環境の大きな改善につながる。
事業の県関与の必要性	法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの 県が措置入所させた児童の安全・安心の確保は、措置権者である県の責任でもある。

政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
	重点事業 その他